

# 三線の花（2020）

本調子

1/2



工 老四上 尺五工 上老四 合中上 合六五 合六工 合六五五六

工 老四上 尺五工 上老四 合中上 合六五 合六工 合工合

いつしかわすられた

おじーのかたみのさんしん

中 合 尺 中 上 老四上 尺王中 合 尺 合 工 六 五 工上

とこのまで

たんじょういわいの

しまぎけにもたれて

中 合 尺 合 上 合 中 合 中 合 中 合 尺 ○ 尺 尺王

ほこりをゆび でなでて

ゆるんだいとをまけば

中 合 尺 中 上 老四上 尺王中 合 尺 合 工 六 五 工上

たいくつで

たまらなかつた

しまうたが

ひびいた

あざ

中 合 尺 合 上 合 中 合 工 合 工 合 五 合 五 上 尺

やかに

よみがえる

あなたと

すごしたひびは

やわ

工 合王尺王五尺工 六 五 工尺中 合中上中上 老 六 五 上 尺

らかな

いとしきで

このむ

ねを

つきや

ぶり

さい

工 工 尺王五六六 合七六 工尺中 合王五 合五五 合六六 工尺

たの

はさんしんのはな

このそ

らもあのうちみも

中 中王五六五 工 合 工 合 上 尺工 工王尺王五六六 六七六

なにも

かたりはしない

このし まにあたたかな

工尺中 合中上中上乙老上○ ○ 上 尺工 工王尺王五六六 六七六

☒かぜと

なり あめを

よび

さいた のはさんしんのはな

工尺中 合王五 五五五 合六六 工尺中 中王五六五 工 ○ ○

○ 工 老四上 尺五工 上老四 合中上 合六五 合六工 合六五六

# 三線の花（2020）

本調子

2/2

|   |   |     |     |     |     |     |     |   |   |
|---|---|-----|-----|-----|-----|-----|-----|---|---|
| 五 | 工 | 老四上 | 尺五工 | 上老四 | 合中上 | 合六五 | 合六工 | ○ | ○ |
|---|---|-----|-----|-----|-----|-----|-----|---|---|

|     |     |     |    |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |  |
|-----|-----|-----|----|---|---|---|---|--|--|--|--|--|--|--|
| 上尺工 | 五六五 | 七六工 | 上中 | 工 | 工 | 五 | 工 |  |  |  |  |  |  |  |
|-----|-----|-----|----|---|---|---|---|--|--|--|--|--|--|--|

一、いつしか忘れられた  
オジの形見の三線  
床の間で誕生祝いの島酒にもたれて

ほこりを指でなでて  
ゆるんだ糸を巻けば  
退屈でたまらなかった島唄が響いた

鮮やかによみがえる  
あなたと過ごした日々は  
やわらかな愛しさで

この胸を突き破り  
咲いたのは三線の花

テレビの斜め向かいの  
あなたが居た場所に  
座ればアルミの窓から夕月が昇る

家族を眺めながら飲む酒はどんな味  
眠りにつく前の唄は誰の唄

喜びも悲しみも  
いつの日か唄えるなら

この島の土の中  
秋に泣き冬に耐え春に咲く三線の花

この空もあの海も何も語りはしない  
この島に暖かな風となり雨呼び  
咲いたのは三線の花

秋に泣き冬に耐え 春に咲く  
三線の花